

## 記者発表資料

**i-Construction” 貫徹の年” を目指した新技術の導入を加速  
～” ×Tech.” (クロステクノロジー)を実現する新技術マッチングのマッチングイベントを実施～**

### 8件の技術シーズについて、マッチングイベントを実施

国土交通省では、建設現場への新技術の導入を加速し、2019年を生産性革命“貫徹の年”と位置付け、「i-Construction」を推進することとしています。関東地方整備局では、企業間連携” ×Tech. ”(クロステクノロジー)を実装するため、主に建設分野以外の最新技術 (IoT、ロボット、AI等) を建設現場に取り入れることを目的として、平成30年度から、新技術導入に向けた「現場ニーズと技術シーズのマッチング」を行っており、これまで16技術のマッチングが成立しました。

今回、現場ニーズ90件について、技術シーズの公募したところ、8件の応募を受けましたので、そのニーズ内容説明、シーズ内容説明、及び、技術内容の個別確認を行うためのマッチングイベントを、下記のとおり実施します。

1. 開催日時 令和元年7月9日(火) 14:00～17:15
2. 開催場所 さいたま新都心合同庁舎2号館 5階 共用会議室5A
3. 実施内容 ①開催挨拶 関東地方整備局長  
②ニーズ内容説明、シーズ内容説明  
③技術内容の個別確認

※国土交通省のホームページ ([http://www.mlit.go.jp/tec/i-construction/tec\\_intro\\_wg/index.html](http://www.mlit.go.jp/tec/i-construction/tec_intro_wg/index.html))  
及び関東地方整備局のホームページ (<http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000034.html>)  
より、募集資料をダウンロードできます。

### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 埼玉県政記者クラブ 横浜海事記者クラブ 神奈川建設記者会

### 問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局

企画部 機械施工管理官

じんぐうじ やすひで  
神宮寺 保秀

企画部 施工企画課 課長補佐 宮本 雄一

TEL:048-601-3151(代表)(内線:3132、3456)

## <案内図>

- 開催日時 令和元年7月9日(火) 14:00~17:15
- 開催場所 さいたま新都心合同庁舎2号館 5階 共用会議室5A  
(埼玉県さいたま市中央区新都心 2-1)
- 参加対象者 どなたでも自由にご参加いただけますので、希望される方は、当日、開催場所までお越しください。



## マッチングイベント プログラム

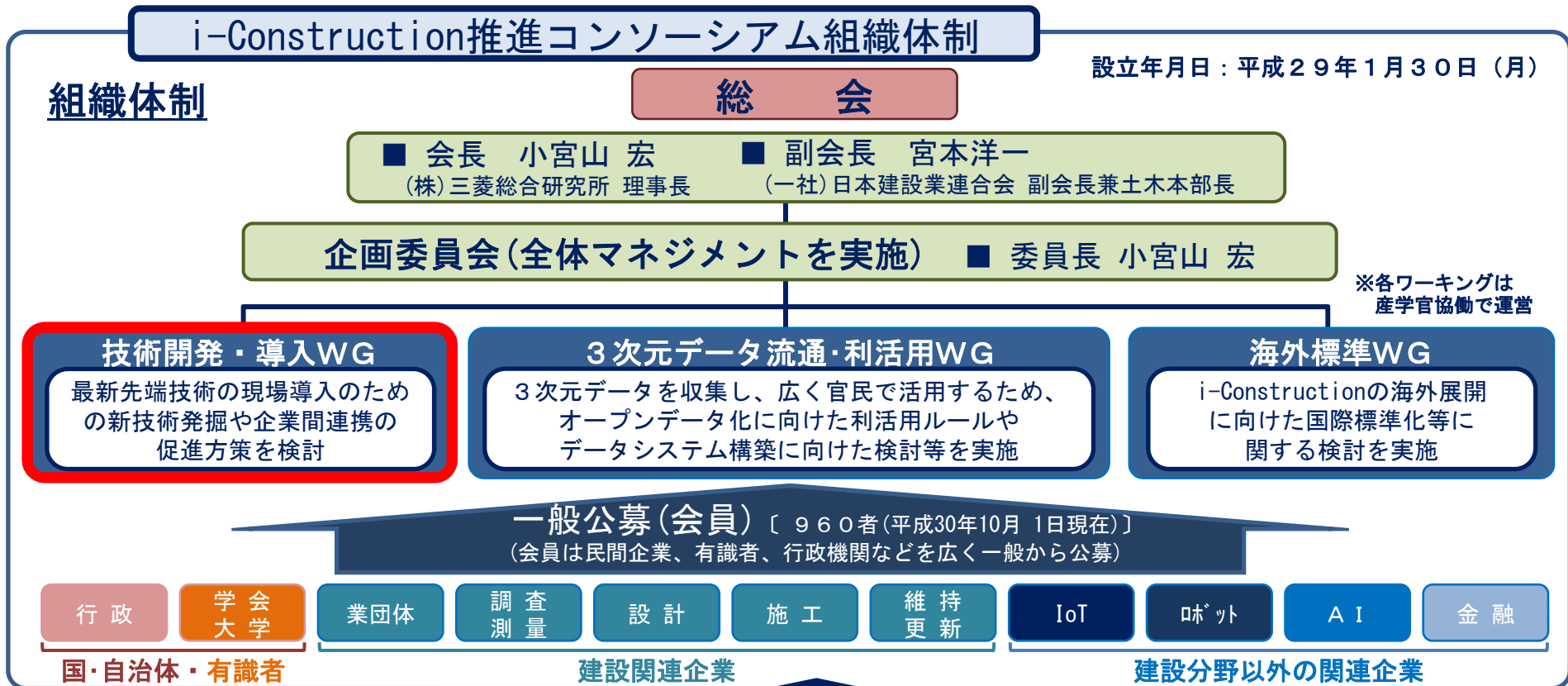
実施時間	実施内容			
14:00 ~ 14:10	開催挨拶			
14:10 ~ 14:12	実施方法等説明			
	番号	説明者	番号	説明者
14:15 ~ 14:27	ニーズ①	関東技術事務所	シーズ①	アジア航測（株）
	LP調査で得られたデータについて、不要な点群データを自動でフィルタリング処理する技術（AI技術等）		三次元点群データの適正なフィルタリング手法	
14:30 ~ 14:42	ニーズ②	利根川下流河川事務所	シーズ②	朝日航洋（株）
	堤防の変状を容易に把握する技術		AR技術を活用した堤防表面の変状確認支援システム	
14:45 ~ 14:57	ニーズ③	利根川下流河川事務所	シーズ③	中外テクノス（株）
	「カワヒバリガイ」のゲート・バルブ類への付着防止技術・容易に除去できる技術		近紫外照射光による生物付着対策技術対策	
15:00 ~ 15:12	ニーズ④	東京外かく環状国道事務所	シーズ④	日本農林資源開発（株）
	発生土の含水比を低減させ、汚泥としないで搬送でき、建設土として有効利用できる方法		M.A.P(Mixing Air Pump)技術とマルチ槽コジェネ乾燥装置	
15:15 ~ 15:27	ニーズ⑤	二瀬ダム管理所	シーズ⑤	日本農林資源開発（株）
	ダムに堆積した土砂の省スペースで簡易な脱水施設		M.A.P(Mixing Air Pump)技術とスパイラル脱水装置	
15:30 ~ 15:52	ニーズ⑥	品木ダム水質管理所	シーズ⑥-1	日本農林資源開発（株）
	電源を必要としないダムへの流入量観測機器		自律発電流入量観測システム	
			シーズ⑥-2	川田テクノシステム（株）
			basepage Measurement Stocker	
15:55 ~ 16:07	ニーズ⑦	甲府河川国道事務所	シーズ⑦	（株）拓和
	洪水時の河床高の変動を計測する装置		水位と堆砂量を計測するセンサー	
休 憩				
16:20 ~ 17:15	個別確認			

# 【参考】

# i-Construction推進コンソーシアム

調査・測量から設計・施工・維持管理までのあらゆるプロセスでICT等を活用して建設現場の生産性向上を図る「i-Construction」を推進するため、様々な分野の産学官が連携して、IoT・人工知能（AI）などの革新的な技術の現場導入や、3次元データの活用などを進めることで、生産性が高く魅力的な新しい建設現場を創出することを目的として、i-Construction推進コンソーシアムを設立。

最新技術の現場導入のための新技術発掘や企業間連携促進、3次元データ利活用促進のためのデータ標準やオープンデータ化、i-Constructionの海外展開など、i-Constructionの推進に資する取り組みを行う。



国土交通省 : 事務局、助成、基準・制度づくり、企業間連携の場の提供など

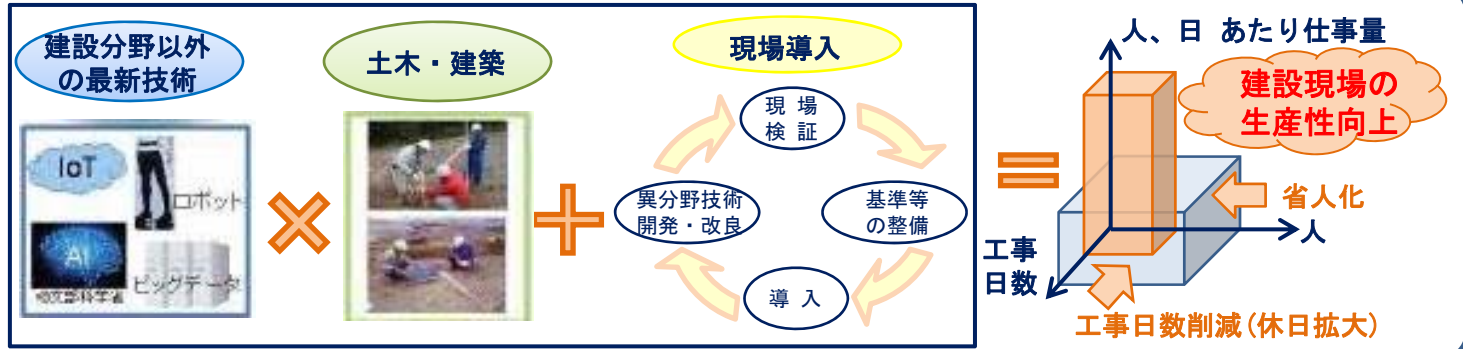
国土交通省HP

<http://www.mlit.go.jp/tec/i-construction/i-con-consortium/index.html>

関東地方整備局HP

<http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000034.html>

最新技術の現場導入のための新技術発掘や企業間連携を促進し、建設現場の生産性向上を目指す



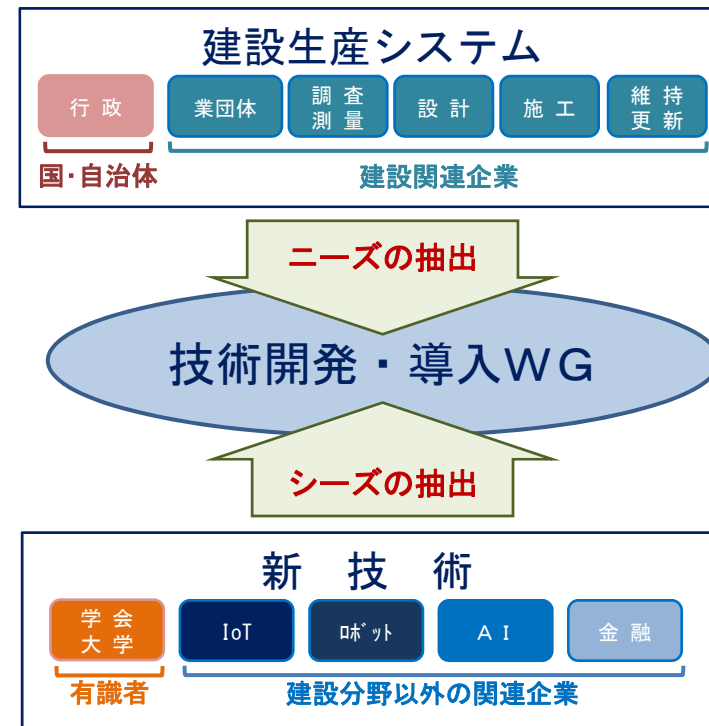
## ○企業間連携の提供

- ・行政ニーズや現場ニーズ、技術シーズの抽出 (アンケート、ヒアリング等)
- ・ニーズとシーズのマッチング (ピッチイベント等の実施)

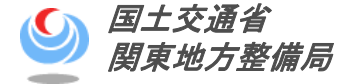
## ○技術開発の促進

- ・国等が特定するテーマに基づく技術開発 (建設技術研究開発助成制度の活用)
- ・企業間で技術開発された有用な技術の普及拡大 (現場への試行導入、NETISの活用等)

## ○社会実装に向けた制度基準の課題と対応の整理



# ニーズとシーズのマッチング〔技術開発・導入WG〕



## 国土交通本省実施

### 《第1回マッチング》

- ・ニーズとシーズのマッチング決定〔5件〕

### 《第2回マッチング》

- ・ニーズとシーズのマッチング決定〔11件〕

平成30年度から実施主体が地整等へ移行

## 関東地方整備局実施

### 《第1回マッチング(関東)》

- ・ニーズとシーズのマッチング決定〔16件〕

### 《第2回マッチング(関東)》

平成31年 4月24日～ [シーズの公募](#)

- ・関東地整HPにて「記者発表」

令和元年 5月31日

令和元年 7月 9日 [マッチングイベント](#)

- ・ニーズ内容説明、シーズ内容説明、個別確認を実施

令和元年 7月中旬～ [個別調整](#)

- ・試行条件について、ニーズ側とシーズ側で確認

令和元年 8月中旬 [マッチング結果公表](#)

- ・関東地整HPにて「記者発表」予定

令和元年 8月下旬～ [順次現場試行](#)

※今後の日程は変更の可能性があります